

建築設計競技 EUROPAN における公共建築の設計者選定手法に関する研究
その 1：設計者が関わる前段階の運営体制

建築設計競技	EUROPAN	公共建築	正会員	梅田 伶緒 *
			同	脇坂 圭一 **
			同	恒川 和久 ***
設計者選定手法	運営体制		同	西山 雄大 ****
			準会員	○浦上 穰 *

1. 研究の概要

1-1. 背景と目的

日本では入札方式が 7 割を占めているが、質の高い公共建築の調達のための設計者選定手法が議論されている^{文1)}。その結果、制度や運営上の課題が浮き彫りとなったが特に、日本では若手建築家の参入機会が乏しい点が問題視されている^{文2)}。一方、欧州では都市文化戦略の一環として若手建築家の育成が重視され、ベテランと共に活躍できる仕組みが整っている。本研究では、若手建築家の参画を支える建築設計競技 EUROPAN に着目し、その運営体制を明らかにすることを目的とする。

1-2. 既往研究の到達点と本研究の位置付け

山日、小野田ら^{文3)}は、フランスとドイツに公共建築の質を担保する制度があることを明らかにした。渡辺、小澤ら^{文4)}は、EUROPAN のテーマと敷地選定の特徴を整理し、欧州の都市課題を明らかにした。望月、脇坂ら^{文5)}は、コンペ普及には支援組織との協働が有効だと示した。

2. 研究対象と研究方法

研究方法は、EUROPAN 発行の 12 冊の受賞作品年鑑と公式 HP を基に文献調査を行った。また、本部メンバーの Françoise Bonnat 氏にメールでヒアリングを実施した。ヒアリング項目は、EUROPAN を主導する機関、コンペ開催の財源確保方法、テーマ・審査員の決定プロセス、若手育成効果である（表 1）。

EUROPAN は、1972 ～ 1987 年にフランスで実施された PAN^{注1)}を基に発展した。35 年間で隔年開催され、計 17 回実施された実施コンペである（表 2）。敷地は欧州全土に広がり、50 か国中 30 か国で実施された。各国に支部があり、設計競技に参加する支部は毎回変化した。補助として参加する支部も

EUROPAN 開催のための運営体制として、本部、支部、審査員の構成を整理した。

3-1. EUROPAN 開催のための構成

EUROPAN は、フランス政府の省庁間プログラム PUCA^{注2)}の一部であり、マルセイユに本部を置く設計競技組織である（図 1）。各国に支部を持ち、2 年間で 75 万ユーロを集めて運営されている。各支部はパートナー機関から土地や資金の提供を受け、フランスの CAUE^{注3)}や EPF^{注4)}、スペインの自治体連合^{注5)}、ドイツの IBA^{注6)}などが支援していた。各国の都市ごとに敷地が設定され、受賞チームが選ばれるが、受賞数は敷地ごとに異なっていた。

3-2. 本部と支部の審査員の構成

本部、支部ともに具体的なメンバーについてみると、建築家は必ず入っており、他は国によってランドスケープアーキテクトやエンジニアが入っていた（表 4）。

4. テーマを設けた運営体制

4-1. テーマ決定までの手順

本部が各国支部に課題を問い、支部がテーマを提案していた（図 2）。その後、本部が審査会を開き、科学委員会・技術委員会が分析を実施し、支部代表者の投票を経て最終テーマが決定されていた。

表 1. ヒアリング項目

調査項目
1 EUROPANの運用に行政が関わっているのでしょうか。
2 設計競技を運用する資金はどこから出ているのでしょうか。
3 テーマはいつ誰がどのように決めているのでしょうか。
4 敷地ブリーフはいつ誰がどのように決めているのでしょうか。
5 審査員はいつ誰がどのように決めているのでしょうか。
6 テーマは開催回ごと変わるが参加条件は変わらないのでしょうか。
7 EUROPANは若手建築家が公共建築に参画するための機会となっているのでしょうか。
8 実際に竣工した建物の割合はどのくらいでしょうか。
9 若手建築家を育成するための機関CAUEはフランスだけですか。他国にも同じようながあれば、どのような機関があるのでしょうか。

表 2. E1 から E17 までの開催回ごとの支部の参加の変遷

開催回	通し番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	計(支部)〇	計(支部)△		
	支部 期別	フランス	スペイン	ドイツ	オーストリア	ベルギー	イタリア	オランダ	スウェーデン	スイス	フィンランド	クロアチア	ノルウェー	ハンガリー	ポルトガル	ポーランド	ギリシャ	イギリス	エストニア	デンマーク	ラトビア	アイランド	キプロス	コソボ	スロバキア	スロベニア	チェコ	ブルガリア	トルコ	ユーゴスラビア	ルーマニア				
E1	1969—1990	○	○	○	○	○	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	0	
E5	1997—2000	○	○	○	△	○	○	○	—	○	○	○	—	△	○	—	○	○	△	○	—	—	△	—	△	—	—	△	—	—	△	—	△	12	7
E10	2008—2010	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	△	—	△	—	△	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	3
E15	2019—2021	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	—	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	0
E17	2023—2024	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	—	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	0
計(回)〇		17	17	17	16	17	16	16	15	14	13	12	11	0	9	3	7	5	3	4	2	3	0	1	0	3	1	0	1	1	0		参加支部		
計(回)△		0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	0	9	0	6	0	0	2	0	2	0	3	2	3	1	3	3	0	0	1		補助支部へ		

あり、9 ～ 17 か国が毎回参加した。最多は E7 と E9 の 17 か国だった。本研究では、全 17 回に参加した 5 か国のうち、敷地数の多いフランス・スペイン・ドイツの 3 か国（表 3）を比較対象とした。

3. EUROPAN に関わる組織構成からみた運営体制

4-2. テーマと敷地の関係性

例えば全体テーマの下に E17 では、3 つのサブテーマが設定され、サブテーマごとに各国の支部が敷地を選定していた。フランスは 10

表 3. 敷地数の変遷

通し番号	1	2	3	4	5
支部	フランス	スペイン	ドイツ	オーストリア	ベルギー
E1	1969-1990	-	-	-	-
E10	2008-2010	6	7	9	3
E15	2019-2021	9	7	2	5
E17	2023-2024	10	8	8	3
計(敷地)	83	62	66	36	19

A Study on the Selection Method of Architects for Public Architecture in
EUROPAN Architectural Design Competition
Part1: Management system for the stage before architect participation

UMEDA Reo, WAKISAKA Keiichi, TSUNEKAWA Kazuhisa,
NISHIYAMA Yudai, URAGAMI Jyo

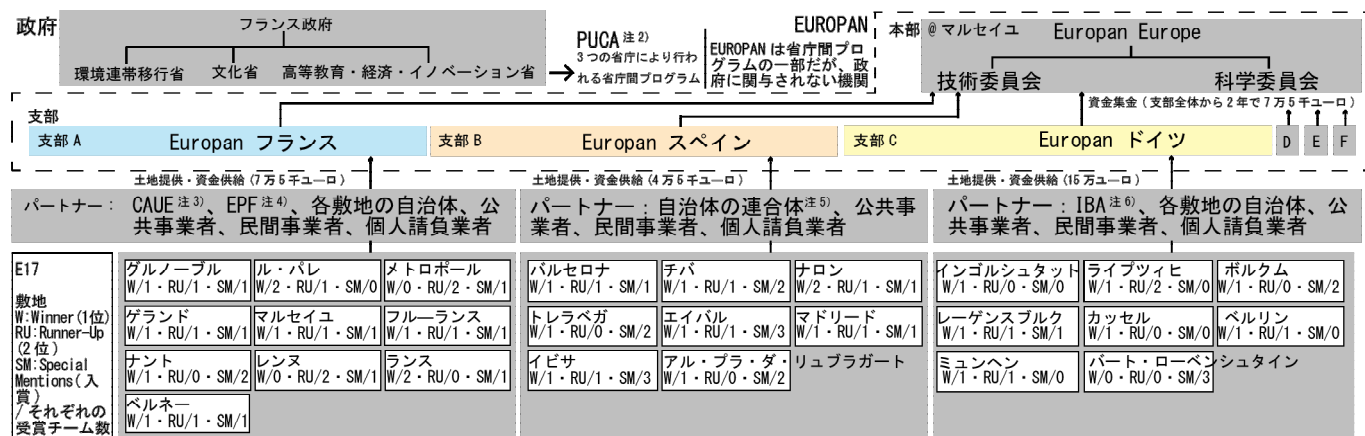


図1. EUROPANの運営体制とE17の敷地に対する受賞チーム数

都市、スペインとドイツは各8都市が対象であった（表6）。

5. 総括

EUROPANは土地提供と資金供給を基に多分野のメンバーで運営され（3-1）、建築家を中心とした運営体制があった（3-2）。テーマを決める際、インターセッションズフォーラムという審査会が本部と支部によって行われていた（4-1）。敷地ごとに細かいテーマに分類されており、多国間協働の運営を促していた（4-2）。

謝辞

European EuropeのFrançoise Bonnat氏には多大なるご協力を得ました。ここに記して感謝申し上げます。本研究は科学研究費基盤研究（B）（2024-2027）「質の高い建築の調達のための設計者選定手法に向けた行政と支援組織の体制に関する研究」（代表者：脇坂圭一）の助成を受けた研究の一部である。

注釈

注1）PAN：Programme Architecture Nouvelle 建築の質の水準を向上させるために行われていた実施コンペで15年間で14回開催された。

注2）PUCa：Plan Urbanisme Construction Architecture 環境連帯移行省、文化省、高等教育・研究・イノベーション省の省庁によって行われる省庁間プログラム。

注3）CAUE：CONSEILS D'ARCHITECTURE, D'URBANISME ET DE L'ENVIRONNEMENT アドバイザー、各県に配置、建築家、都市計画家、景観家など専門家に加え、事務職を含めた10人程度で構成、公務員ではない。

表4. 本部と支部の構成

性別	建築	ランドスケープ	都市計画	エンジニア	その他
本部	M	○			○
	F				○
	F				○
	M	1	0	0	0
	M				○
フランス	F	○			○
	M	○			
スペイン	M	2	0	0	1
	F				○
ドイツ	F	○			
	M	○			
	F	○			
	M	2	1	0	0

財源は税金、文化省が所轄。

注4）EPF：Les établissements publics fonciers 財源は自治体からの収益や公的資金、環境連帯移行省が管轄

注5）自治体：自治体の連合体。

注6）IBA：Internationale Bauausstellung ドイツ政府が任命した自治体や都市の代表者（市長、副市長、代理人など）によって主導されている。

参考文献

- 文1）一般社団法人日本建築設計学会「建築設計02 設計者選定を考える」第二特集設計者選定を考える、pp. 24-61、2016. 3. 31
 文2）仙田満「知的生産者選定支援機構の設立の意味と展望」、建築雑誌 JABS、Vol. 136、No. 1752、pp. 12-13、2021. 8
 文3）山田康平・小野田泰明・山名善之・柳澤要・姥浦道生・坂口大洋「フランス、ドイツにみる公共建築の発注手法に関する研究」、日本建築学会大会学術講演梗概集（東海）、pp. 35-36、2012. 9
 文4）渡辺美季子・小澤丈夫・平輝「建築設計競技 European のテーマ・敷地選定の特徴と変遷」、日本建築学会北海道支部研究報告集、pp. 325-328、2019. 6
 文5）望月亮介・脇坂圭一・恒川和久「質の高い建築の調達に向けた設計者選定手法としての自治体と支援組織の協働体制について その1 西尾市生涯学習施設における実施要領・作業項目・役割分担について」、日本建築学会東海支部研究報告集、pp. 431-438、2024. 3

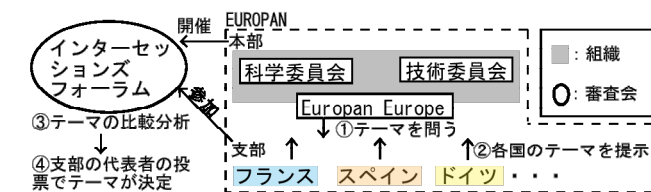


図2. EUROPANにおけるテーマ決定の手順

表5. 審査員における役職の変遷

	建築家			施主			記者			自治体の代表者			建築家（予備）		
	フランス	スペイン	ドイツ	フランス	スペイン	ドイツ	フランス	スペイン	ドイツ	フランス	スペイン	ドイツ	フランス	スペイン	ドイツ
支部															
E8	4	7	5	2	1	1	2	2	2	1	2	1	2	1	6
E9	4	4	5	2	1	1	2	3	2	1	1	1	2	1	4
E10	4	5	7	2	2	1	2	1	2	1	1	1	2	0	4
E11	4	5	5	2	2	1	2	3	2	1	1	1	2	1	2
E12	6	6	6							1	1	1	2	0	0
E13	6	6	6							1	1	1	3	0	0
E14	8	8	7							1	1	1	3	1	2
E15	6	8	8							1	1	1	2	1	2
E16	8	8	8							1	1	1	2	1	1
E17	8	9	8							1	1	1	2	0	2

* 静岡理科大学 理工学部建築学科 学部生

** 静岡理科大学 理工学部建築学科 教授・博士（工学）

*** 名古屋大学大学院工学研究科 教授・博士（工学）

**** 武庫川女子大学生生活環境学部 講師・博士（工学）

表6. テーマと敷地の関係性

E17(2023-2024)		参加支部と敷地		
Theme	LIVING CITIES-2	フランス	スペイン	ドイツ
Subtheme	1) Let the Birds Sing!	グルノーブル ゲランド ル・バレ マルセイユ メトロポール	バルセロナ チバ ナロン トレバベガ	インゴルシュタット
	2) Imagine a Second Life!	フルーランス ナント レンヌ ランス ベルネー	エイバル マドリッド	パート・ローベン シュタイン ライプツィヒ ミュンヘン レーゲンスブルク
	3) Think Tabula Non-Rasa!	イビサ アル・ブラ・ダ・リュブラガート	ボルクム カッセル ベルリン	
各国の敷地の合計（ヶ）		10	8	8

Student, Department of Architecture, Shizuoka Institute of Science and Technology.

Prof., Department of Architecture, Shizuoka Institute of Science and Technology, Dr. Eng.

Prof., Graduate School of Engineering, Nagoya University Dr. Eng.

Lecturer, School of Human Environmental Sciences, Mukogawa Women's Univ., Dr. Eng.